

1 事業名

平成26年度教育事業 「体験の風をおこそう」運動協賛事業
「テンパークちゃれんじくらぶ」～ドキドキ わくわく 夏～

2 趣旨（事業の目的）

自然体験をとおして、自然を大切にする心，豊かな感性や思いやりの心を育むとともに，ボランティア高校生・大学生また参加者同士の交流をとおして，コミュニケーションの力を育む。

3 期日

平成26年8月30日（土）～31日（日）

4 参加者 75名

（盛岡市，滝沢市の小学生，3～6年生）

5 連携・協力

岩手県教育委員会，盛岡市教育委員会，滝沢市教育委員会，盛岡大学

6 内容

（1）日程

日 時	13:00 13:30 13:50			15:00			17:30 18:30		20:00 21:00 21:30		
8/30 （土）		参加者受付	はじめの会	みんなで遊ぼう！ 仲間づくり アイスブレイキング	お祭り創作 お祭り準備 うちわづくり等	夕食	みんなで火をかこもう！ キャンプファイヤー	入浴	就寝準備	就寝	
日 時	6:30 7:00 7:30 9:00				13:00 14:00 14:30						
8/31 （日）	起床	洗面	つどい	朝食検	お祭りランチづくり わくわくランチづくり ～野外炊事～	片づけ	終わりの会	解散			

（2）指導者

国立岩手山青少年交流の家

企画指導専門職

中田 春輝

企画指導専門職

丹 康浩

事業推進係

及川 未希生

事業推進係

長谷川 祐太

指導補助

法人ボランティア

8名

（3）企画のポイント

体験活動支援セミナーに参加している高校生や大学生とのふれあいや体験活動をとおして，友達作りや班で協力することの大切さを学びながら，楽しい2日間を過ごせるように生活班に複数名のグループリーダーを配置した。

はじめに，全体でのアイスブレイクを行い参加者の緊張をほぐした。次に班ごとに

活動を行い、グループリーダーと仲良く活動を重ね、班ごとのコミュニケーションが深まるようにプログラムを構成した。また、今回の企画では、テーマを「テンパーク夏祭り」と題し、うちわや牛乳パック灯籠を作ったり野外炊事場を飾り付けしてお祭り会場の雰囲気を出したりした。自分たちで作った牛乳パック灯籠はキャンプファイヤーで、うちわは野外炊事の火起こしで使用した。

(4) 広報のポイント

年度当初から、当施設ホームページに事業日程を掲載してきた。また、盛岡市、滝沢市の教育委員会教育長、盛岡市、滝沢市の各小学校と報道機関へ開催要項とチラシを送付した。

(5) 運営のポイント

体験活動支援セミナーの参加者を2名ずつ、小学生10グループのグループリーダーとして位置づけて、小学生の参加者が不安を抱くことがないように、あたたかく迎え入れるようにした。また、班が早く仲良くまとまるようにグループリーダーが率先して話しかけ、班のコミュニケーションを深めることで、参加者がより楽しく活動ができるように配慮した。

7 成果とその普及

テンパークちゃれんじくらぶは、以前も参加して楽しかったので、今回も是非参加したいという参加者が多く、人気の高い期待されている事業となっている。

参加者のアンケートから「他の学校の人と友達になってよかった。」「創作活動をしたり自分たちでご飯を作ったりするのが、すごく楽しかったです。」「いろいろなことに挑戦できて楽しかったです。いい思い出がつくれて楽しかったです。」「お姉さんが行先を教えてくださいましてうれしかったです。」などの感想がよせられた。一つ一つの活動も楽しいが、他の学校の参加者や、高校生や大学生のボランティアのお兄さんやお姉さんとのコミュニケーションが楽しい要因のようだ。今の子どもたちに欠けているといわれるコミュニケーション能力の向上にもつながった。1泊2日という短い期間ではあるが、十分に満足できる活動を提供できたものとする。

8 今後の課題

子どもたちの中には、参加を楽しみにして、すぐグループリーダーとうちとけ、仲良く会話を楽しむ姿が見られた。また、緊張からか、なかなかグループに入れず、口数が少なく自分から話そうとしない子どももいた。グループリーダーに話しかけられて仲よくなることはできたが、子どもたち同士声をかけ合ったり、誘い合ったりの姿がもう少し見られても良かったと思う。また、2日間と短い期間ではあるが、子どもたちが自由に活動できる時間を設定していきたい。



アイスブレイク



創作「うちわ作り」



灯籠を持ってキャンプファイヤー